

薬学教育6年制の学生を対象とした初めての薬剤師国家試験(第97回)が、2012年3月3、4の両日、全国9会場で実施されました。近年、薬学を取り巻く環境の変化に伴い、患者本位の医療を実現するために、「責任ある行動」が取れる薬剤師像が求められています。国家試験でも、責任ある行動を取るための総合的能力、問題解決能力が養われているかどうかの判定が重要なキーポイントになっています。薬剤師国家試験

第98回薬剤師国家試験の領域別ポイント

薬学ゼミナール大阪教室教室長 岡本 耕司

(第98回)が13年3月2、3の両日で実施されることが発表されました。今回は前回に引き続き「出題領域別のポイント」として、「病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務」の勉強の指針を紹介します。

勉強の指針

病態・薬物治療

<予想される出題傾向と対策>

患者の病態生理を理解し、適正かつ安全な薬物治療を行うために必要な知識を問うものや、代表的な疾患の臨床検査、適切な治療薬の選択、使用上の注意等について出題されると思います。

□代表的な疾患及び話題になっている疾患(感染症、悪性腫瘍、代謝系疾患など)

□症例、検査値を挙げて診断や治療薬などを問う“症例・処方問題”

複合問題につながる症例・処方問題では、正常な状態(機能形態学、生化学、検査値)を把握し、治療薬の選択、検査値、処方薬の薬理作用、処方薬の製剤特徴、投与経路、服薬指導などを同時に復習するとより効果的です。

□CYPの分子種など、薬物相互作用に関する知識を問う問題

□情報・検定に基づいた薬物治療を理解するための基礎知識を問う問題

勉強の指針

法規・制度・倫理

<予想される出題傾向と対策>

薬剤師としての業務を遂行するに際して必要な法的知識及びこれらの関連する各種の制度、並びに医療の担い手としての任務を遂行するために保持すべき倫理規範的知識や態度について出題されることが予想されます。

法律などに照らして薬剤師の行動等の適正を問う問題等です。

□薬剤師としてだけでなく、医療の担い手としての倫理規範を問う問題

□薬剤師が業務を行う上での行動規範を問う問題(薬事法、薬剤師法、医療法、管理薬に関する規制など)

□実際の薬剤師業務を遂行する上で関わる内容(医療保険制度、診療報酬点数表、介護保険制度、健康保険法及び関係法令等)

□薬剤師に関わる可能性がある法的責任に関する内容(民事責任、

刑事責任、行政法上の責任、製造物責任等)

勉強の指針 実務

<予想される出題傾向と対策>

医療や公衆衛生等に携わる薬剤師の業務に関する基礎的及び実践的な知識、技能及び態度を問う問題が出題されることが予想されます。薬剤師が、医薬品を一商品としてではなく、生命と関連性が高いものであることを常に意識し、患者を支援し、副作用の早期発見・発生防止に努めることを含め、

医薬品の安全性と有効性の確保のために薬の専門家として業務に携わるべきことを理解しているかを問う問題です。

第97回国試と同様に、実践に即した問題抽出・解決能力を確認する観点から、実践の場で取り得る解答肢の中から最も適切なものを選択する問題も出題されるでしょう。

□血液製剤、消毒薬など医薬品管理、後発医薬品、注射薬の調剤

□処方箋鑑査、医薬品情報、処方意図、服薬指導、疑義照会、副作用など実際の医療業務に関する問題

□院内感染、チーム医療、調剤過誤、薬局業務、地域における業務、一般用医薬品

薬剤師国家試験(第98回)においては、薬学実践問題をよりつながりのある問題にすることにより、難易度アップが図られるものと予測されます。また、第97回国試においては、足切りの対象となった科目に「衛生」が挙げられましたが、第98回国試では他科目も起こり得る可能性が高く、年内における苦手領域の克服が重要です。特に物理・化学・生物系では年内習得が必要不可欠となります。

次に、出題区分について確認してみましょう。

「必須問題」は、全領域から出題され、薬剤師として特に必要不可欠な基本的資質が問われます。一般問題に比べて比較的得点しやすいため、そこでの貯金が合格の近道になります。

「必須問題」の得点率が90%なら、「一般問題」の得点率は56.5%で済みます。従って、「必須問題」では9割の得点率を目指してください。

「一般問題」は、薬剤師が直面する一般的課題を解釈・解決するための資質を問うもので、「薬学理論問題」と「薬学実践問題」があり全領域から出題されます。

一般問題全般において計算問題が多

く出題されておりましたが、今後もグラフを使った問題や計算問題は増える傾向にあると予測しています。公式の理解と共に、たくさんの既出問題を解くことで解法を習得して下さい。次に、

症例、検査値から処方を読み解く実践問題では、第96回国試まで記載されていた検査値の基準値の一部が第97回国試より示されておりませんでした。よって、検査項目と基準値をしっかりと頭の中に入れておく必要があります。

そのほか、添付文書に記載されている内容を問う問題も出題されており、重要となる疾患(中枢神経系、循環器系、呼吸器系、代謝系など)の薬物の添付文書にも目を通して下さい。

既出問題の内容を 年内に完全理解しよう

国家試験合格を確実にするには既出問題の内容を完全に理解することが重要です。

既出問題に出題されている内容から、さらに科目単位での掘り下げと、他科目へのつながりを意識した勉強が大切です。年内までに全科目の既出問題(7~8年分)を習得し、年明けからは余裕を持って総復習ができる環境を構築しておきましょう。

受験生の皆さん、引き続き頑張りましょう。応援しております。

将来、独立したい薬学生求む。

新成堂は神奈川県を中心に20店舗を展開する調剤薬局です。現在も毎年数店舗ずつ新規出店を行っているため、新成堂で働いていると、新規出店を1から10まで経験する機会が本当に多いです。それは、将来、調剤薬局を自ら開局し、独立を考えているみなさんにとって、薬局のマネジメントスキルを磨くのに最高の環境であると自負しています。「いつか自分の店を持ちたい!」という強い想いを持った意欲的で、向上心が強い新卒薬学生は是非当社の採用選考にエントリーしてください!



社長の愛船でクルージング 毎年恒例バーベキュー大会 超満員の合同企業説明会 一緒に働きましょう!

より詳しく新成堂を知りたい方はホームページをご覧ください。

新成堂 採用ホームページ
http://www.sinseido.info/recruit/

新成堂 採用

検索



株式会社 新成堂
代表取締役社長 新関 一成

プレゼント!

薬局への就職活動に絶対役立つ情報冊子

『就職で失敗しない! 良い調剤薬局の選び方』

新成堂採用ホームページにてプレゼント中!

全20頁

気になる中身を一部ご紹介すると...

- 良い調剤薬局と悪い調剤薬局を見極める3つのポイント
- 良い調剤薬局に共通する特徴はこれだ!
- 良い調剤薬局の見つけ方・選び方! など